

橈骨神経麻痺

新型コロナウイルスに感染したひとが、行動歴を隠したり嘘をついたりすると罰金を取られるようになるとか。誰にだって、言いにくいことはあるだろう。コロナ以外の病気でも、似たような患者さんはい

る。
43歳のYさんは、高血圧で通院中の患者さん。朝起きたら、左手がしびれて、うまく動かせなのに気付いた。「まさか、脳梗塞では？父親がそうだった」と慌てている。

が、落ち着け。その手を見ただけで診断がしゅく。『不垂手なごしで』と呼ばれるもので、手首と指が垂れ下がっている。手首の背屈ひんがし（手の甲側に反らすこと）ができず、手指の付け根の関節が伸ばせない。ものをうまく握れなくなる「橈骨神経麻痺うひんくせき」である。

橈骨神経は、頸椎けいついから脇の下を通り、上腕骨の外側をぐるりと回ってから、手や指を伸ばす筋肉に広がる。この神経が上腕の中央部で損傷されたり圧迫されたりすると、手を反らしたり指を伸ばす筋肉が動か

なくなる。手の甲がしびれたりもする。ただし、肘を曲げる所で神経を損傷した場合、指は伸ばせないが手は反らせる。しびれも起きない。

ところで、この橈骨神経が上腕骨のすぐ後ろを通っていくという特異な走行が、悲劇を生むのである。何らかの理由で神経が上腕骨に押し付けられると、簡単に手の麻痺を起こしてしまう。羽目を外して深酒し、肘掛け椅子で寝てしまった。ずっと腕枕をしていた、ということもある。それで、この麻痺は、サタデーナイト症候群とかハネムーン症候群とも呼ばれる。

Yさんは、深酒はしていないと言っ。『では、彼女の頭でも？』と聞くと、彼は明らかに動揺した。『とうとうに、最後まで、どうして麻痺が起きたか分からないと言いつけるのである。ま、いいか。医者のおぶしつけない質問が功を奏し、また同じことはしないだろう。』

（石黒修三 しいしほろクリニック・脳神経外科専門医…2/1北國新聞掲載）